

清掃事業が区の仕事になりました。

久が原地区 管内	人口	男	12,385人
		女	12,549人
		計	24,934人
		世帯	10,839世帯

平成12年3月1日現在

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原2-19-3
(3752)4271

題字 三木 兼吉



この会は、年度末に当たり、青少対の活動事業とPTAの連携を確かめ、深めるための、毎年行なわれる話し合いの会です。懇談に先立ち、池上警察署の幸地良治少年係長から、久が原地域の実情について話を

青少対委員とPTA 役員との連絡懇談会

提起される問題で特に多いのが、ゴミと交通安全に関するものです。これらは、ひとえにモラルやマナーに関わるものだけに、解決には時間が

前号でも触れましたが、推進委員会についてもう少し説明したいと思います。当委員会は年10回開催されます。33名のメンバーは、各自治会やPTAから推薦を受けた地元の方々です。そこに区役所・警察署・消防署・清掃事務所などの機関を加えて、まちの課題について活発な議論を交わしています。

お聞きしました。近年、少年の薬物乱用、恐喝、暴力傷害、性・風俗事犯等も増えている点を持つこと、②善惡の判断をしつかり教えること、③両親は勿論、地域の人々も、常に近所の子どもに声をかけ、接点を持つておくこと、④非行

大事なことは、①日頃から

子どもの言動、持ち物に関する心を持つこと、

公務員であり、けが等を負った場合も補償されます。入団資格は、地元に住んでいるか勤務している18歳以上の男女です。あなたの入団をお待ち

かになります。しかし、地域全体で取り組めば克服できなきものはないと信じています。事実、会で話し合われた問題は、自治会や関係部署の尽力により少しずつ改善され、成果をあげています。最後に、今後とも私たち推進委員にお気軽にご意見ご要望をお寄せください。貴重な声を最大限生かす所存です。わがまちをより良くするため一緒に汗を流そうではありませんか。

(推進委員会会長 宮田篤二)

交通事故ゼロを 目指して

今年も4月6日から区内一斉に春の大田区交通安全運動が展開されます。

久が原地区でも、各方面の協力を得ながら、自治会が中心となり、高齢者・若年者・自転車等の事故防止に重点を置いて運動に取り組みます。

常日頃残念に思うのは、ス

クールゾーンに進入したり、

閑静な街並みをかなりのスピ

ードで走りぬける車があるこ

とです。一方、歩行者・自転

車側にも赤信号無視など、マ

ナーチ違反の部分がだいぶ見受

けられます。

事故防止には、期間中に限

らず、普段から交通ルールを

守る心がけが第一です。そし

て、思いやりある行動こそが、

よい努力をしなければならないことを実感させられました。

この地の子どもたちが、よき家族・学校・地域

の中で健全に育つため

、より幅広いつながりと

結びつきで、惜しみな

い努力をしなければなら

らないことを実感させ

した。

(青少対 新井信子)

わがまち推進委員会の活動報告（その2）

消防団員になりませんか

私たちの町はみんなで守ろうではありませんか。先の阪神淡路大震災で、地元消防団員の活躍が各方面から賞賛されたのを、皆様ご存知のことだと思います。現在は、消防署と連携し消防活動を始め、年末年始及びお祭り等の警戒、防災訓練の指導等を行っています。

消防団の起源は、江戸の町

火消「いろは四八組」にあり

ます。私は、消防署と連携

いたしました。迫力のパフォ

ーマンスに、会場は惜しみな

い拍手で包まれました。

消防団員の身分は特別職の地方

公務員であり、けが等を負つた場合も補償されます。

消防団員の身分は特別職の

